平成26年６月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月12日

上 場 会 社 名	株式会社ファーストエスコ	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	9514	URL	http://www.fesco.co.jp
代　　表　　者	(役職名)代表取締役社長	(氏名)島崎　知格	
問合せ先責任者	(役職名)常務取締役	(氏名)小池　久士	(TEL)03(5299)8525
四半期報告書提出予定日	平成25年11月14日		

四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

１．平成26年６月期第１四半期の連結業績（平成25年７月１日～平成25年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年６月期第１四半期	2,043	52.6	359	233.0	312	1,856.1	455	5,037.7
25年６月期第１四半期	1,339	△7.4	107	34.3	15	△71.3	8	△82.0

(注)　包括利益　26年６月期第１四半期　484百万円（1,906.4%）　25年６月期第１四半期　24百万円（△61.6%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
26年６月期第１四半期	3,131.30	3,080.24
25年６月期第１四半期	60.95	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年６月期第１四半期	12,583	1,173	9.3
25年６月期	11,198	689	6.1

(参考)自己資本　26年６月期第１四半期　1,166百万円　25年６月期　683百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
25年６月期	―	0.00	―	0.00	0.00
26年６月期	―				
26年６月期(予想)		0.00	―	0.00	0.00

(注)　直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．平成26年６月期の連結業績予想（平成25年７月１日～平成26年６月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
第２四半期(累計)	3,500	31.5	400	106.1	380	378.1	340	―	2,336.75
通期	7,100	17.1	880	58.2	790	63.2	750	293.2	5,154.60

(注)　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：　有

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　２社（社名）　㈱白河ウッドパワー、アールイー大分㈱

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　有

（注）詳細は、添付資料３ページ「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年６月期１Ｑ	145,501 株	25年６月期	145,501 株
②　期末自己株式数	26年６月期１Ｑ	― 株	25年６月期	― 株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年６月期１Ｑ	145,501 株	25年６月期１Ｑ	145,501 株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については四半期決算短信（添付資料）３ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

※　金額単位の変更について

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額につきましては、従来、千円単位で記載しておりましたが、第１四半期連結会計期間及び第１四半期連結累計期間より百万円単位をもって記載することに変更いたしました。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度につきましても百万円単位に組替え表示しております。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）セグメント情報等 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
（６）重要な後発事象 ……10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済成長戦略や日銀による金融政策を背景に、一部企業収益の改善や個人消費の持ち直しが見られたものの、欧州債務危機問題やアジア新興国の経済成長鈍化等により、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しております。

当業界においては、前年度より引き続き、原発再稼働への不安や電力料金の値上げ、固定価格買取制度の導入を背景とした再生可能エネルギーへの期待の高まりから、比較的設置の簡易な太陽光発電設備の設置需要が続いております。また、当社グループが運営する木質バイオマス発電に関しては、コントロールが可能な再生可能エネルギーとして注目度、認知度ともに広がりを見せており、また、地域の森林再生、林業振興を目的として地方自治体、金融機関など各方面からの期待も高まっております。

こうした状況の下、当社グループの省エネルギー支援サービス事業においては省エネ支援設備、太陽光発電設備の設置など、顧客の需要に基づいたサービスの提供を推進してまいりましたが、一部プロジェクトにおいて事業スキームの見直しから将来投資回収の可能性に懸念のある資産について減損処理を実施したほか、子会社借入金の期限前返済に係る費用を特別損失に計上いたしました。また、グリーンエナジー事業の木質バイオマス発電所においては、７月に持分法適用関連会社であった株式会社白河ウッドパワーの全株式を取得、連結子会社化し、さらに９月には大分県豊後大野市にて新たな木質バイオマス発電事業を推進することを決定し、着実に事業の拡大を図ってまいりました。白河ウッドパワー連結に際しては、特別利益に株式の段階取得に係る差益及び負ののれん発生益を計上いたしました。

この結果、当第１四半期連結累計期間の業績は、売上高2,043百万円（前年同期比52.6％増）、営業利益359百万円（前年同期比233.0％増）、経常利益312百万円（前年同期比1,856.1％増）、当第１四半期純利益455百万円（前年同期5037.7％増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

（省エネルギー支援サービス事業）

当第１四半期連結累計期間においては、本年４月に固定価格買取制度に基づく太陽光発電の買取単価が40円/kwh(税抜)から36円/kwh(税抜)に引下げられましたが、太陽光発電設備工事の受注は好調に推移しました。その他空調設備の更新、ＬＥＤ照明、断熱塗装等の売上を計上しております。また既存のオンサイト自家発電、業務系省エネの既存プロジェクトにつきましても、堅調に推移しております。

この結果、当第１四半期連結累計期間の本事業セグメントの業績は、売上高では984百万円（前年同期比19.2％増）、営業利益33百万円（前年同期比15.6%減）となりました。

（グリーンエナジー事業）

当第１四半期連結累計期間は、７月に持分法適用関連会社であった白河ウッドパワーの全株式を取得し、連結子会社といたしました。これにより当第１四半期連結累計期間の期首より白河ウッドパワーの業績を連結に取り込んでおります。日田及び白河ウッドパワーの木質バイオマス発電所２基は、前期に引き続き90%超の高稼働率を維持しており、また、木質チップ燃料の供給を担当するファーストバイオスについても、固定価格買取制度移行後も十分に燃料を収集、供給することができております。さらに、太陽光発電所のソーラーフィールド日田も見込を上回る日照量を得ることが出来、順調に稼働いたしました。こうしたことから本事業セグメントは引き続き増収増益となりました。

この結果、当第１四半期連結累計期間の本事業セグメントの業績は、売上高で1,058百万円（前年同期比99.3%増）、営業利益359百万円（前年同期比271.2%増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第１四半期連結会計期間末における資産合計は、固定資産の減価償却、前渡金の原価振替などの減少要因もあったものの、株式会社白河ウッドパワーを連結したことにより固定資産をはじめ大幅に増加いたしました。その結果、前連結会計年度より1,385百万円増加し12,583百万円となりました。

負債合計は、白河ウッドパワー連結の影響の他、短期・長期借入金の増加により前連結会計年度より901百万円円増加し11,410百万円となりました。

純資産合計は、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加があり、前連結会計年度より483百万円増加し1,173百万円となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年８月14日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第１四半期連結会計期間より、株式会社白河ウッドパワーの全株式を取得したため、連結の範囲に含めております。また、子会社アールイー大分株式会社の重要性が増したため連結の範囲に含めております。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税、住民税及び事業税に含めて表示しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年６月30日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	535	857
受取手形及び売掛金	838	1,010
原材料及び貯蔵品	176	222
繰延税金資産	108	173
その他	327	247
貸倒引当金	△23	△23
流動資産合計	1,962	2,488
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,491	3,069
減価償却累計額	△995	△1,185
建物及び構築物（純額）	1,495	1,884
機械装置及び運搬具	15,639	16,742
減価償却累計額	△9,160	△9,886
機械装置及び運搬具（純額）	6,478	6,855
工具、器具及び備品	70	112
減価償却累計額	△59	△87
工具、器具及び備品（純額）	10	25
土地	387	571
リース資産	609	609
減価償却累計額	△302	△322
リース資産（純額）	307	287
建設仮勘定	－	24
有形固定資産合計	8,680	9,649
無形固定資産		
電気供給施設利用権	109	121
その他	2	2
無形固定資産合計	112	123
投資その他の資産		
長期前払費用	88	80
長期預け金	248	207
その他	106	34
投資その他の資産合計	443	322
固定資産合計	9,235	10,094
資産合計	11,198	12,583

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年６月30日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	519	579
短期借入金	130	256
1年内返済予定の長期借入金	710	845
未払金	184	113
1年内支払予定の長期未払金	1,042	1,049
リース債務	87	87
未払法人税等	45	108
賞与引当金	17	22
メンテナンス費用引当金	182	259
契約損失引当金	28	28
その他	222	110
流動負債合計	3,170	3,460
固定負債		
長期借入金	1,616	2,532
長期未払金	4,691	4,530
長期前受金	170	158
リース債務	245	225
資産除去債務	19	19
契約損失引当金	239	182
金利スワップ負債	103	91
長期預り金	251	209
固定負債合計	7,338	7,949
負債合計	10,509	11,410
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
利益剰余金	△197	258
株主資本合計	802	1,258
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△119	△91
その他の包括利益累計額合計	△119	△91
新株予約権	6	6
純資産合計	689	1,173
負債純資産合計	11,198	12,583

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年７月１日 至　平成24年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年７月１日 至　平成25年９月30日）
売上高	1,339	2,043
売上原価	1,133	1,554
売上総利益	205	489
販売費及び一般管理費	97	129
営業利益	107	359
営業外収益		
受取利息	0	0
助成金収入	0	14
その他	0	0
営業外収益合計	0	15
営業外費用		
支払利息	24	25
支払手数料	－	36
貸倒引当金繰入額	55	－
その他	13	0
営業外費用合計	92	62
経常利益	15	312
特別利益		
段階取得に係る差益	－	12
負ののれん発生益	－	443
特別利益合計	－	455
特別損失		
減損損失	－	220
金利スワップ解約損	－	34
借入金中途解約損	－	28
特別損失合計	－	283
税金等調整前四半期純利益	15	484
法人税、住民税及び事業税	7	28
法人税等合計	7	28
少数株主損益調整前四半期純利益	8	455
四半期純利益	8	455

四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年７月１日 至　平成24年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年７月１日 至　平成25年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	8	455
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	15	28
その他の包括利益合計	15	28
四半期包括利益	24	484
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	24	484
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）セグメント情報等

Ⅰ 前第１四半期連結累計期間(自 平成24年７月１日 至 平成24年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	省エネルギー支援サービス事業	グリーンエナジー事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	825	513	1,339	1,339
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	18	18	18
計	825	531	1,357	1,357
セグメント利益	40	96	137	137

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	137
全社費用(注)	△29
四半期連結損益計算書の営業利益	107

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間(自　平成25年７月１日　至　平成25年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	省エネルギー支援サービス事業	グリーンエナジー事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	984	1,058	2,043	2,043
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―
計	984	1,058	2,043	2,043
セグメント利益	33	359	393	393

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	393
全社費用(注)	△ 34
四半期連結損益計算書の営業利益	359

(注)　全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの資産に関する情報

当第１四半期連結会計期間において、株式会社白河ウッドパワーの全株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ「グリーンエナジー事業」セグメント資産が1,793百万円増加しております。

４．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「省エネルギー支援サービス事業」セグメントにおいて、一部のプロジェクトにつき収益性の低下に伴い売却価値を含めた資産の評価を行い、不採算が合理的に見積もられるサイトにおいて減損処理をいたしました。当該事象による減損損失の計上額は、当第１四半期連結累計期間においては220百万円です。

「グリーンエナジー事業」セグメントにおいて、株式会社白河ウッドパワーの全株式を取得し連結子会社化いたしました。当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第１四半期連結累計期間においては443百万円です。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

株式会社白河ウッドパワーの全株式を取得したことによる、段階取得に係る差益及び負ののれん発生益の計上により利益剰余金が455百万円増加しております。

（６）重要な後発事象

株式分割及び単元株制度の採用について

当社は、平成25年11月12日開催の取締役会決議に基づき、平成26年１月１日付で、株式分割及び単元株制度の採用を行うことを決議いたしました。

１．株式分割及び単元株制度の採用の目的

平成19年11月27日に全国証券取引所が公表した「売買単位の集約に向けた行動計画」の趣旨に鑑み、当社株式の売買単位を100株とするため、株式の分割を実施するとともに、100株を１単元とする単元株制度を採用いたします。

なお、この株式の分割及び単元株制度の採用に伴う投資単位の金額の実質的な変更はありません。

２．株式分割の概要

(1)株式分割の方法

平成25年12月31日を基準日として、同日（同日は株主名簿管理人の休業日につき、実質的には平成25年12月30日）の最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有する普通株式１株につき、100株の割合をもって分割いたします。

(2)株式分割により増加した株式数

株式分割前の発行済株式総数	：	145,501株
今回の分割により増加する株式数	：	14,404,599株
株式分割後の発行済株式総数	：	14,550,100株
株式分割後の発行可能株式総数	：	58,200,000株

(3)株式分割の日程

基準日公告日	平成25年12月２日
基準日	平成25年12月31日
効力発生日	平成26年１月１日

３．単元株制度の概要

(1)新設した単元株式の数

単元株制度を採用し、単元株式数を100株といたします。

(2)新設の日程

効力発生日	平成26年１月１日

４．１株当たり情報に及ぼす影響

当株式分割が前連結会計年度の開始の日に行われたと仮定した場合の１株当たり情報は、以下のとおりであります。

１株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後１株当たり当期純利益金額

項目	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年７月１日 至　平成24年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年７月１日 至　平成25年９月30日）
１株当たり四半期純利益金額	０円61銭	31円31銭
潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額	―	30円80銭